

都道府県名	佐賀県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	唐津市立外町小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数 28
学級数	3	2	3	2	3	3	1	17	
児童数	94	74	82	74	91	87	2	505	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学び、生き生きと取り組む算数科をめざして  
基礎学力の定着と指導方法・指導体制の改善

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

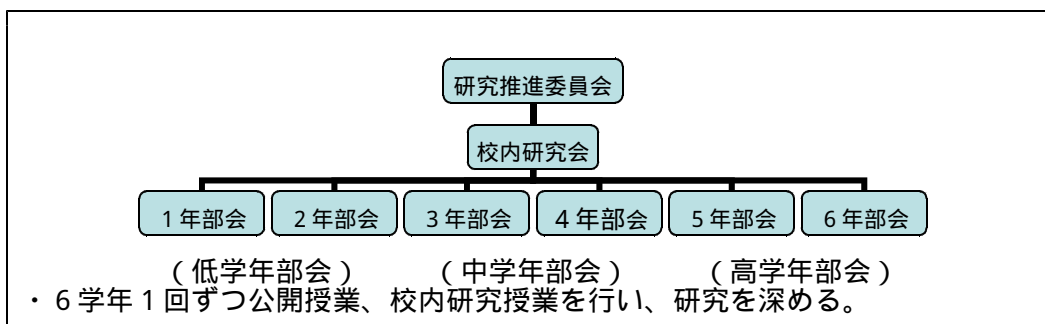
3年生・算数  
学習内容が難しくなり、理解の差が生じてくるため。  
4年生・算数  
1クラスの人数が多く、少人数指導をすることで学習効果があがると考えたため。  
5年生・算数  
TT指導により、個に応じた指導ができると考えたため。  
6年生・算数  
学習内容が難しく、TTをすることで理解を深めることができると考えたため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>研究主題 自ら学び、生き生きと取り組む算数科をめざして 基礎学力の定着と指導方法・指導体制の改善</p> <p>研究の仮説 指導形態を工夫し、個に応じたきめ細かな指導を行えば、確かな学力が定着し、算数科に対して子どもが主体的に取り組むであろう</p> <p>研究の内容・方法 (1) 研究の内容 児童の実態調査、分析 個に応じたきめ細かな指導方法・指導形態の工夫・改善 評価規準を生かした指導の改善 教材の工夫・改善 計算力向上の取組</p> <p>(2) 研究の方法 学力検査を実施し、分析を行う。 算数科やTT、少人数指導、習熟度別指導に対するアンケートを実施し、興味・関心・意欲の変容を探る。 少人数指導、習熟度別指導を積極的に取り入れ、効果的な指導形態を探る。5年、6年はTTを行う。 評価規準を生かし、指導にあたる。 主体的な学習を高め、基礎、基本の定着を図る教材づくりをする。 百ます計算、チャレンジタイム（3年、4年）を行い、基礎的な計算力を伸ばす。</p>
--------	---

平成 16 年度	<p><b>研究主題</b> 自ら学び、生き生きと取り組む算数科をめざして 基礎学力の定着と指導方法・指導体制の改善</p> <p><b>研究の仮説</b> 指導形態を工夫し、個に応じたきめ細かな指導を行えば、確かな学力が定着し、算数科に対して子どもが主体的に取り組むであろう。</p> <p><b>研究の内容・方法</b></p> <p>(1) 研究の内容 児童の実態調査、分析 個に応じたきめ細かな指導方法・指導形態の工夫・改善 評価規準を生かした指導の改善 教材の工夫・改善 計算力向上の取組</p> <p>(2) 研究の方法 学力検査を実施し、分析を行う。 算数科やＴＴ、少人数指導、習熟度別指導に対するアンケートを実施し、興味・関心・意欲の変容を探る。 少人数指導、習熟度別指導、課題別学習を積極的に取り入れ、効果的な指導形態を探る。発展学習の研究を進める。 評価規準を生かし、指導にあたる。 主体的な学習を高め、基礎、基本の定着を図る教材づくりをする。 百ます計算、チャレンジタイムを行い、基礎的な計算力を伸ばす。</p>
----------------	---

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

<p>少人数指導、習熟度別指導を実施したことで、児童一人一人の学習のペースや理解度に応じた指導をすることができた。</p> <p>少人数指導、習熟度別指導によって、子どもたちが精神的に安定した状態で学習に取り組めた。</p> <p>子どものつまずきに対する手立て（ヒントカード、操作活動）を考えることで、個に応じた指導ができるようになった。</p> <p>一斉指導では、消極的だった子が意欲的な姿を見せるようになり、発言や質問が多くなった。</p> <p>百ます計算やチャレンジタイムの実施により、意欲的に計算練習に取り組み基礎的な計算力の徐々に伸びてきた。</p>
---

## 2. 今後の課題

少人数指導、習熟度別指導に主に取り組んできたが、課題別学習なども取り入れ、より効果的な指導形態を研究する必要がある。

指導形態の工夫はある程度できたが、一人一人が主体的に学ぶ指導法の研究を今後進めなければいけないと思う。

「数と計算」「数量関係」において習熟度別指導を行ってきたが、他の領域においても研究をし、基礎学力の向上に努めていく必要がある。

習熟度別少人数指導でのコース分けでは、前提テスト、事前テスト、診断テストをもとに子どもたちに選ばせていたが、適切なコースを選択できる工夫が必要である。

チャレンジタイム（計算タイム）の実施方法、実施時間、実施学年の検討がある。

少人数指導についての保護者への啓発が弱かった。

### 学力等把握のための学校としての取組

NRT学力テスト（4月）  
知能との相関関係をつかむとともに、前年度との比較をし、学力の変容をつかむ。

CRT学力テスト（1月）  
1年間で学習したことを児童一人一人がどれくらい習得しているかつかむ。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 第1回公開授業
- ・平成15年10月24日（金）
  - ・4年「わり算（2）」
  - ・習熟度別少人数指導（2クラスを4つのグループに分けて）
  - ・研究協議会（県内小・中学校教員）
- 第2回公開授業
- ・平成16年1月30日（金）
  - ・3年2組「かけ算（2）」
  - ・習熟度別少人数指導（1クラスを2つのグループに分けて）
  - ・5年3年「2倍、3倍の世界」
  - ・発展学習 TT
  - ・研究協議会（管内小・中学校教員、県外小学校教員1名、学校評議員1名、保護者8名）

- 【新規校・継続校】     15年度からの新規校     14年度からの継続校
- 【学校規模】     6学級以下     7～12学級  
     13～18学級     19～24学級  
     25学級以上
- 【指導体制】     少人数指導     TTによる指導  
     一部教科担任制     その他
- 【研究教科】     国語     社会     算数     理科  
     生活     音楽     図画工作     家庭  
     体育     その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】     有     無